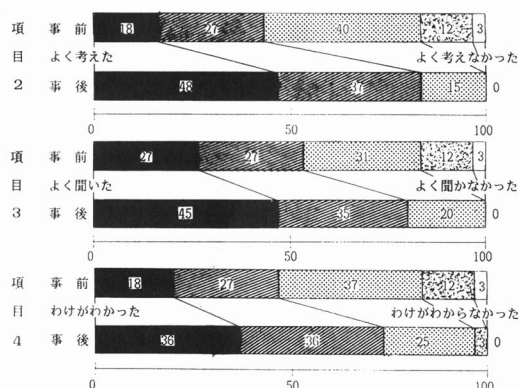
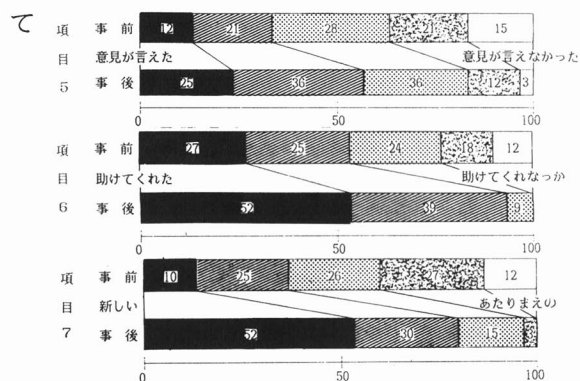


## B 学習内容についてのイメージの変容



項目2、3から、本教材の学習を通して生徒の授業への集中力が増し、一人一人の生徒の内面的な思考力が深まり、積極的に課題解決に当たることができた様子がわかる。また項目4からは、よく考え、よく聞くという基本的な学習態度が身につくことにより、次第に学習内容についての理解が高まっていった様子もうかがうことができる。

## C T・Tによるコース別グループ学習について



コース別グループ学習についてはほとんどの生徒が少人数だと安心して自分の意見を発表することができるので良いと感じていることがわかる。

また、項目6からは、グループによる相互学習や、T・Tによる個別指導の充実により、わからないことをそのままにせず、互いに学び合いながら積極的に学習に取り組もうとする態度が育ってきていることもわかる。

項目7からは、このような学習方法や学習形態については生徒の興味・関心が非常に高く、特にチーム・ティーチングについては全員の生徒が、個別に時間をかけて対応してもらえるので大変良いと感じているという結果も出てきている。

## V 研究のまとめと今後の課題

### 1 研究のまとめ

- (1) 生徒自身に学習計画を立てさせたり、学習コースを選択させたりすることにより、主体的な学習態度が育成された。
- (2) コース別グループ学習を行うことにより互いに学び合いながら、自分に合ったペースで計画的に努力していこうとする姿が見受けられた。
- (3) チーム・ティーチングを通して個別指導を充実させることにより、個々の生徒のつまずきについての具体的な援助や、読みを深めていくための助言などが適宜行われ生徒の学習後の達成感が高まった。
- (4) 既習事項との関連を図りながら学習課題について考えさせたり、各課題ごとに学習のまとめを確実に行うことにより、一人一人の生徒の問題解決力が育ち、説明的文章の学習に意欲的に取り組む姿が見られた。

### 2 今後の課題

- (1) 生徒がさらに主体的な態度で学習することができるような学習過程や学習形態の工夫をすること。
- (2) 単元の目標や生徒の実態に応じた、さまざまなチーム・ティーチングのスタイルについて研究を重ねていくこと。

### 参考文献

「教師のためのチーム・ティーチング  
実践資料集」(ぎょうせい)